

野田政権482日間を振り返って

前内閣総理大臣、衆議院議員
野田佳彦

- * 目指した中間層の安心出来る政治
- * 社会保障と税の一体改革に取り組む
- * 必要な「肩車」の時代を乗り切る環境整備
- * 膨張する社会保障費の財源をどうするか
- * 消費税の引き上げを決断した理由
- * アベノミクスの出口戦略には懐疑的
- * 消費税再引き上げと国民理解
- * 心を砕いた日米関係の再構築
- * 尖閣諸島をなぜ国有化したのか
- * 内向きな米国、攻撃的な中国と日本の安全保障



柴生田 今日、前首相の野田佳彦先生においでいただきました。たいへんお忙しい中ですが、国会が終わりましたので、幸いに実現することができました。

それから今日は、実は10月14日予定ですが、NHKの2チャンネルのEテレで石橋湛山の番組をつくるのだそうで、83年前にこの倶楽部ができてから連綿と講演会が続いている、その場面を若干撮らせていただきたいということで、冒頭部分だけカメラが入りますので、ご了承くださいと思います。

安倍政権も当初はたいへん人気がありました。が、だんだん雲行きもどうかということもござります。一強のまま進んでいくというのは日本のためにもよくありませんので、ぜひ民主党に

はまた元気になっていただいて、活発な議論をしていただきたいと思います。そういう意味もありまして、今日は野田先生に政権を振り返っていただき、今後の展望を語っていただくということをお願いいたしました。

それでは、よろしくお願いいたします。（拍手）

野田 皆様、こんにちは。覚えていますか。（笑）ありがとうございます。95代目の内閣総理大臣を務めさせていただきました野田佳彦でございます。今日は、83年の歴史と伝統のある経済倶楽部で、このようにお話をさせていただきます。機会を頂戴いたしました。見た目ではわからないかもしれませんが、身の引き締まる思いでございます。